

# 上野幌・青葉地域 南側部会 ニュース

上野幌・青葉地域小規模校検討委員会は、地域の4つの小学校を対象として学校規模適正化について検討してきました。平成28年9月からは北側部会（上野幌小学校・青葉小学校）と南側部会（上野幌西小学校・上野幌東小学校）に分かれて検討しています。このニュースについても部会ごとに発行しています。

～このニュースはまちづくりセンターや児童会館、学校でも配布しています～

## 第5回部会について

9月25日（月曜日）午後3時から、上野幌西小学校で第5回部会を開催し、「新しい小学校」の校名について検討を行ったほか、上野幌西小学校の跡活用についての説明がありました。

## 地域の皆さまから寄せられた意見（報告）

第4回の部会以降、事務局や各委員に寄せられたご意見はありませんでした。

## 新設校の校名案（検討）

児童、保護者、地域の方にご応募いただいた84件の校名案について、協議を行い、新しい小学校の校名案を決定しました。（検討の詳細は、次ページをご覧ください）

# 新しい小学校の校名案が決定いたしました。

## <新しい小学校の校名案>

のほろ おかしょうがっこう  
ノホ口の丘小学校

### 選考理由

- 「ノホ口」は両校の子どもたちにとってなじみがあり、長く親しまれてきた共通の名称である。
- 歴史のある名称の「ノホ口」を用いて、札幌市初の片仮名による校名にすることで、今までの「歴史」と「新しさ」の両方を表現することができる。
- 新しい小学校は、この地域の中で小高い場所に位置することになる。そのため、「丘」を校名に入れることで新設校の特徴を表すことができる。

## ◆候補になった校名案

児童、保護者、地域の方から応募いただいた 84 件の校名案をもとに、各委員から 2 件程度の校名案を推薦していただき、検討を行いました。

	校名案	推薦の理由
1	ノホ口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両校の児童が校歌などで耳にしており、なじみがある。</li> <li>・両校にとって長く親しまれてきた共通の言葉である。</li> <li>・江戸時代の古い地図に、地名として「ノホ口」という記載があり、古さと新しさの両方の響きがある言葉である。</li> </ul>
2	ノホ口の丘 (のほろの丘)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ノホ口」という言葉は、両校の児童が校歌などで耳にしており、なじみがある。</li> <li>・校舎を活用する上野幌東小学校の場所は、小高い「丘」になっていて、地域の特徴に合致している。</li> </ul>
3	ノホ口ヶ丘 (のほろヶ丘)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域には「梅ヶ丘」「ひばりが丘」という地名があり、地域とのつながりも感じることができる言葉である。</li> <li>・「野幌（ノホ口）」は、江別市にある「野幌（ノッポ口）」と間違える可能性があり、片仮名（平仮名）で「丘」を付けた。</li> <li>・低学年の児童でも、校名を読んだり、書いたりしやすい。</li> </ul>
4	上野幌中央	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上野幌」という名前を残したい。また、上野幌西小学校と上野幌東小学校が統合するため「上野幌中央」がよい。</li> <li>・上野幌東小学校が新設されるときに、住民の意向として「上野幌中央小学校」を要望したが、実現しなかった経緯がある。</li> </ul>
5	上野幌南	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「上野幌」は、両校の児童が慣れ親しんだ名称であり、場所が上野幌の南に位置している。</li> </ul>

## ◆委員意見

(校名)

委員から以下のご意見がありました。

- 「ノホロ小学校」はシンプルでよいと思う。
- 校歌などの中では片仮名の「ノホロ」が多く使われているため、片仮名の「ノホロ」がよいと思う。
- 江別市に漢字表記で「野幌（ノッポロ）小学校」があり、「ノホロ小学校」となった場合それをどう感じるか。他市なので問題ないかもしれないが、配慮した方がよいのではないか。
- 「ノホロの丘」というフレーズは、上野幌西小学校の運動会でも使われている。上野幌西小学校が閉校しても、「ノホロの丘」だと、子どもたちにとってよいのではないか。
- 札幌市立の小中学校には、片仮名の校名はない。片仮名の「ノホロ」は、「新しさ」を表現する一つになるのではないか。
- せっかく新しい学校をつくるのであれば、札幌市立の小学校で初めて、片仮名を校名に取り入れることで「新しい学校づくり」の第一歩にするとよいと思う。
- 片仮名の「ノホロ」は斬新に感じるかもしれないが、両校の子どもたちは「ノホロ」という言葉に慣れ親しんできており、違和感はないのではないか。
- 「上野幌中央」は、上野幌西小学校と上野幌東小学校の統合であることや「上野幌中央公園」があるのでわかりやすいが、町内会の名称でもあるため、他の町内会地域の方やそこから通う子どもが気にするのではないか。
- 地域住民は、平仮名の「のほろ」になじみがあり愛着がある。平仮名の「のほろ」とのつながりを考えると「のほろの丘」よりも「のほろヶ丘」のほうがよいと思う。
- 片仮名の「ヶ」と書いて「が」と読ませるのは特殊な読み方なのでそれは推せない。つながりを考えると、「ノホロヶ丘」ではなく「ノホロの丘」のほうがよいと思う。
- 平仮名もしくは片仮名の校名は、低学年でも書きやすく、親しみやすい印象があってよいのではないか。
- どれも素晴らしい校名だと思うが、地域とのつながりを感じられるような名前になると、「新しい学校づくり」を地域全体で行っていくというメッセージにもなり、よいのではないか。

## 上野幌西小学校の跡活用について (担当課から説明)

まちづくり政策局地域計画課から、上野幌西小学校の跡活用検討について、関係する法令や、今までの学校施設の跡活用事例について説明がありました。

### ●学校跡活用に関係する法令

- ・ 跡活用で関係する主な法律は、建築基準法と消防法
- ・ 学校はこれらの法律に係る様々な規制が緩和されているが、学校以外の用途として活用する場合、法律に適合するように改修工事が必要

校舎等をそのまま学校以外の用途に転用できない

### ●過去の学校跡活用事例

#### 公共利用（市有、貸付等）

##### ○ 真駒内地域（旧真駒内緑小学校「まこまる」）

周辺の市有施設の建替えが具体化するまで、「子育て環境の充実・強化、地域コミュニティの維持・向上」を目的に、札幌市が保有したまま官民複合施設として有効活用  
市のほか、こども活動体験の場「C o ミドリ」、札幌市立大学C O Cキャンパス「まちの学校」が当施設を活用している。

#### 条件付き売却

##### ○ もみじ台地域（旧もみじ台小学校、旧もみじ台南小学校）

地域連携・貢献に関する条件を設定し、10年間の買戻し特約\*を付けて民間事業者へ売却

\*買戻し特約…売主が売買の解除を行い、不動産を買い戻せる権利。買戻し期間は最長で10年までとなる。（民法第579条、第580条）

#### 【売却にあたっての条件】

- ①地域交流スペースの設置
- ②スポーツ交流機能の確保
- ③地域交流事業の実施
- ④地域防災への協力（避難場所）
- ⑤地域交流運営協議会の設置

##### ○ もみじ台地域における地域連携・貢献内容

##### ①旧もみじ台小学校（星槎もみじキャンパス）

- ・ 地域交流事業として、学校祭の地域への開放や、地域行事へのボランティア参加等を実施
- ・ その他、地域交流スペースの設置、体育館の開放、避難場所機能の確保など



②旧もみじ台南小学校（ゆいま〜る・もみじ台）

- ・ 地域交流事業として、「喫茶く・る・る」の運営や、福祉映画の上映会開催等を実施
- ・ その他、地域交流スペースの設置、体育館の開放、避難場所機能の確保など



## ◆委員意見など

### （校舎の跡活用）

委員から以下のご質問、ご意見等がありました。

- 建築基準法や消防法において、学校は様々な規制が緩和されているとのことだが、上野幌西小学校が建築された当時と現在で規制は変わっていないのか。**

【まちづくり政策局回答】

- ・ 学校を新築する場合、現在もこのような規制は緩和されています。

- 非常用照明や排煙設備などは、今は学校にとっても、必要なものだと思うが、なぜ緩和されているのか。**

【まちづくり政策局回答】

- ・ 学校では授業は昼間しか行わず、定期的に児童の避難訓練が行われるなど先生により管理されている面も考慮されているとのことです。

- 民間事業者が購入すると、建物は避難所ではなくなってしまうのではないか。**

【まちづくり政策局回答】

- ・ 最初から避難所として用いる建物を整備するのではなく、利用可能な施設に避難所としての指定を行います。民間事業者が購入後、避難所としての利用が難しい場合、周辺に適切な施設があれば、代替りの避難所として新たに指定することになると思います。

- 公共施設ではなくても適切な広さなどが確保されていれば、民間施設でも避難所に指定できるのか。**

【まちづくり政策局回答】

- ・ もみじ台地区で社会福祉法人に売却した事例でも、民間事業者が設置した施設は避難所に指定されています。

## その他

### (今後の検討体制)

校名案決定後の、部会における検討項目などについて、意見交換が行われました。

- 上野幌西小学校の跡活用や、統合後の新しい学校における防犯や見守りなどについて、今後検討を進めていくのであれば、現在の部会の委員の構成ではなく、議論すべき内容を分けて、その内容に合った人たちで話し合ったほうがよいのではないか。

#### 【事務局回答】

- ・跡活用について議論する際には、委員構成も検討した方がよいと思いますし、校歌、校章、交流事業などについては、学校中心で検討いただいた方が効果的かつ効率的に進められると思います。
- ・今後の体制や進め方については、次回の部会において整理していきたいと思います。

## 確認事項

第5回の部会では下記のことを確認しました。

- ・次回部会において、新しい学校名の意見書を取りまとめる。
- ・今後の部会の検討体制や進め方について整理を行う。

## 第6回の部会について

第6回部会は、11月下旬頃の開催を予定しており、新しい学校の校名に関する意見書などについて協議を行います。

### ■ ご意見・ご質問は、下記までお寄せください ■

#### ■小規模校検討委員会に関すること<小規模校検討委員会事務局>■

札幌市教育委員会 生涯学習部 学校施設課 (学校規模適正化担当)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 S T V北2条ビル5階

T E L 011-211-3836 / F A X 011-211-3837 E-mail gakkokibo@city.sapporo.jp

#### ■児童会館に関すること■

札幌市子ども未来局 子ども育成部 子ども企画課 (放課後児童担当)

〒060-0051 札幌市中央区南1東1丁目 大通バスセンタービル1号館3階

T E L 011-211-2989 / F A X 011-211-2943 E-mail kodomo.ikusei@city.sapporo.jp

#### ■校舎の跡活用に関すること■

札幌市まちづくり政策局 都市計画部 地域計画課 (調整担当)

〒060-8611 札幌市中央区北1西2丁目 札幌市役所本庁舎5階

T E L 011-211-2545 / F A X 011-218-5113 E-mail toshikeikaku@city.sapporo.jp

※ 部会ニュースは、札幌市教育委員会ホームページにも掲載しています。  
<http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/kentoutiiki.html>